

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩 心 会 発 行

9年 逗葉大 (合)	2月 地地区 地地区 計	現在 区 区 計	會員数 150名 208名 41名 399名	9年 加編 中	2月 藤 村	(295号) 行 岳 集 岳	者 相 者 愛
------------------	-----------------------	-------------------	------------------------------------	---------------	--------------	----------------------	------------

三月の予定行事

○碩心会春期審査会

日時・3月9日(日)9時30分受付

会場・逗子市立図書館ホール

審査料・千円(各支部毎まとめ当日迄)

許証料・3月25日迄に納入

消費税が変更になりましたので、指導者に改正プリント渡してあります。

○第3回全国優秀吟者吟道大会

日時・3月23日(日)

会場・九段会館ホール

審査代行委員

(8年12月7日付)

千葉岳関先生が、県本部審査代行委員に任命されました。

総伝認許

(9年1月1日付)

24(岳百)黒崎百枝 30(岳義)沼田義久
 31(岳耀)清水隆吉 33(岳麗)白井ひふみ

新支部発会

(9年2月1日付)

常任理事会で決定され、下記支部が独立、新支部として発会しました。(○印支部長)

(栄) 支部・指導者 山口岳夕

○18 山口岳夕 276 梅原幸風 277 田中絵風

282 水野湖風 298 増島照山 311 藤原光山

339 橋本洋山 340 嘉山香山 396 大橋政子

459 山口純子 460 相馬真利子 (11名)

(幸和支部・指導者 西川幸風)

374 河田好泉 375 黒田慶泉 376 林田静泉

389 石川吉泉 390 高橋友泉 393 渡辺英泉

402 田口綾泉 403 越水悦泉 419 林田久

予定行事の申し込み

○第5回神奈川地区吟道会

日時・6月1日(日)9時30分〜16時30分

会場・ハーモニーホール座間

割出
 当吟
 葉山地区 男性合吟1 43名
 女性合吟1

逗子地区 男性合吟1 31名
 大船地区 女性合吟1 10名
 コンクール出吟者は動員数に含みず。
 詩舞等は出吟数割当内です。

出吟料・一人千円

締切・3月8日(土) 総務・松井正岳迄

碩心会役員の先生方も一般出吟割当に含みず。

神奈川地区吟道大会

連、合吟コンクール予選会について

右大会のコンクールに、頑心会から左記チームが出場することになりました。そして予選会が左記の通り行なわれます。

日時・4月13日(日)9時受付

会場・横須賀労働福祉会館

(選考代表)

葉山地区：麴(3名)一題・餅(10名)一題

短軒地区：麴(3名)一題・餅(10名)一題

(連吟コンクール課題吟)

(1)雑詩(改訂版^{1/12}) (2)湘夫人の詠(改訂版^{1/276}) (3)門を出でず(^{2/124}) (4)酒を酌んで表迪に与う(^{2/252}) (5)山中の雲(^{3/264}) (6)登高(^{3/230})

(合吟コンクール課題吟)

(1)不識庵機山を撃つ凶に題す(改訂版^{1/52}) (2)磯浜望洋楼に登る(改訂版^{1/78}) (3)感有り(^{2/14}) (4)山を見る(^{3/86}) (5)江雪(^{3/210}) (6)清夜の吟(^{3/218})

申込・3月3日 総務 松井正岳迄

○予選通過チームは神奈川地区大会に出場

○地区大会上位2チームは全国大会に出場

県本部 年齢別吟詠大会 第2回

日時・5月17日(日) 9時〜16時

会場・平塚農業会館

参加料・県本部登録会員で65才以上

(但し総伝者は除く)

申込・3月3日 総務 松井正岳迄

参加料・二千元(含昼食)

吟題・漢詩(教本第一巻より) 和歌(朗詠集より)

(漢詩の部)

(1)芳野(^{1/136}) (2)将に東遊せんとして壁に題す(^{1/39}) (3)客舎の壁に題す(^{1/51}) (4)諒州詞(^{1/94}) (5)勸学(^{1/108})

(和歌の部)

(1)唐土にて月を見て詠みける(^{男22}) (2)山吹(^{男30}) (3)春の山(^{男42}) (4)同じところ(^{男54}) (5)安政六年十月二十日書簡(^{男58})

県本部 吟行会 (長野方面)

来る9月28日(日)、第108回全国吟道大会が、長野市県民ホールで行なわれ、神奈川県本部としては、右会に参加を兼ねて吟行会を行ないます。多数御参加を。

(日時、コース・バス)

(9月27日(出))

横浜(^{7:40})横須賀(^{7:00})平塚(^{8:00})各地出発

足柄SA 御殿場IC 河口湖IC 諏訪IC 市内

(昼食) 岳風記念館、墓参 松本IC 松本

城、日本民族資料館 戸倉上山田温泉

(9月28日(日))

上山田(^{8:20}) 長野県民ホール(^{9:00~11:00})

湯田中温泉

(9月29日(月))

湯田中(^{8:00}) 善光寺 小諸IC 懐古園、

渥美 清こもろ寅さん会館 市内(昼食)

大黒PA 各地(11:00頃)

○右申込み、参加費用等については、次号にてお知らせいたします。

楽しい詩吟教室

東伏見 日比恵 山

人生には色々な出会いがございます。私は偶々老いを少しづつ感ずる年になって、以前より興味を持つておりました詩吟を教えるべくことになりました。すばらしいお仲間恵まれ、毎週楽しく勉強させて頂いております。

東伏見台の集会所に沼田岳義先生をお迎えして、最初始めました時は、男性二人、女性三人の、計五人でございましたが、ここ三年半余の間に、新進気鋭のパラエティに富んだ男性方が次々と入会されまして、今では十一人となりました。毎週土曜日の夕方七時より二時間半、熱心な先生の御指導の下、本当に楽しく、有意義な詩吟の勉強しております。お世話役の森合さんのお計らいで、折々の吟行会もして頂き、昨年末には楽しい忘年会をいたしました。その折の気持を詠んでみました。

吟納め終りて渚のレストラン

吟友集いて忘年の会

相模湾の暮色眺めつ中華の店

丸きテーブルに吟友集う

宴たけなわほろ酔気嫌の面々の

おはこの吟に耳を傾く

健康と柔かな頭を持ち続ける為にも、よき師、よき友人達と共に、心ゆくまで楽しく詩吟の勉強をしてゆきたいと念じております。

若くして逝きし吟友をおくる

矢嶋 岳悦

袴田正風さんは、六月の温習会の頃から教室を休んでいられたので、十一月末の日曜日、お宅へお見舞に伺いました。具合が悪いというのに、大変喜んで下さり、手をとって何度も御礼を言われました。そして、来春からはお教室にも出て、三月には審査を受けたいから頑張るといい、一緒に伺った仲間と、吟の練習を始めました。そして貴女は、八段の課題吟の漢詩、和歌、俳句、新体詩を、いつもと変らぬよい声で吟じられ、切々とした気魄が胸を打ち、私は貴女の吟に対する情熱を学びました。

それから半月後の十二月十日死去：こんなに早く訃報を聞くとは夢にも思いませんでした。会長、許証部長にお計らいして、八段の許証を追贈していただき、御霊前に捧げます。「香炉峰下 新に山居を卜し」：「貴女の吟声が聞こえてくるような気がします。どうぞ安らかに。心から御冥福を祈ります。病あつく吟心残して逝きし友

つきぬ思い出今は悲しも（合掌）

侍輿の歌

高段者審査が間近に迫り、八段の課題に「侍輿の歌」があります。侍輿の歌の吟題のあとに「余、芸に到りて留まること数旬。將に京寓に帰らんとし、遂に母を奉じて偕に行く侍輿の歌を作る。」を韻読調で吟じますが、この長い詩文が「正題」ということです。

この詩は「正題」の通り、故郷の広島（安芸国）から母を伴って京都の寓居に帰ることになり、その途中、母の輿の側に侍して作つたもので、山陽が初めて母を伴って京都に上つたのは、父春水の死から三年後の文政二年（一八一九）で山陽が四十才の時。二月二十三日に広島を出発、三月十一日に京寓に到着、そのあと、母を吉野等に案内したという。

山陽が母（静子）を思い、母と語り合いながら、ゆつくりと進んで行く旅の道中を詠み、山陽の孝養一筋の至情が胸に響いてきます。

又、同じく山陽の詩に「母を送る路上の短歌」がありますが、この詩は右の詩から十年後の山陽五十才の時、広島から再び京都に伴って来た母の、帰郷に際し尾道まで行を共にし、そこで母を見送った時の作といわれます。

平成9年碩心会初吟会決算書

出席者数： 会員 280名、 招待者 4名、 :計 284名				
収入の部		支出の部		
摘要	金額	摘要	金額	備考
会費 3,000円 x 280名 指導者会より 本部会計補助 前回繰越し	840,000円 30,000円 50,000円 11,990円	ロフォス湘南関係 料理(283名) 接待費 酒追加 心付け	849,000円 7,567円 9,450円 25,000円	
特別費 (矢部先生) (守屋先生) 寄付 岡嶋 岳鳳 鹿嶋 岳久 加藤 岳心 守谷 岳瑠様 白井 麗岳様	10,000円 10,000円 5,000円 5,000円 5,000円 3,000円 5,000円	お客様足代 尺八お礼 余興参加費 名札、紙筆代 看板、式次第 会議費 プロ、他コピー代 通信連絡費 消耗品費 お茶代 雑費 残金	25,000円 3,000円 12,500円 2,000円 4,000円 7,000円 6,000円 2,000円 1,100円 6,000円 5,000円 10,373円	250人分 担当部 担当部
合計	974,990円	合計	974,990円	

残金 10,373円は次期に繰り越します。

企画部長 上村 象岳 印
 〃 副部長 内山 俊岳 印
 〃 副部長 川瀬 弘岳 印

梅に鶯

今月は何かと多忙で月報の編集がおくれてしまったが、偶々今日は立春…。我が家の庭の梅の木もほほ満開となり、春が来ると思うと何となく心 and らぎます。

春にさきがけて咲く梅は、花も実も人々に愛され、奈良時代には貴族達に尊ばれ、「万葉集」の中にはたくさんの方が詠まれています。そして「梅に鶯」と古くからいわれていますが、鶯も春の使者として親まれています。初鳴きは二月初め頃といわれていますが、ホーホケキョと澄んだ美声でさえずるのは三月頃という。春の待たるる今日このごろ、希望をもって60周年に向ってがんばりましょう。

(入会)

462 角田照夫(前) 逗子市沼間二一三二八

(銀詠) ☎〇四六八一七一〇七二八

463 竹尾光恵 横浜市磯子区上中里町一〇七八

(納E) ☎〇四五七七六一三三六八

464 板橋雅岳(前) 葉山町堀内四九五一三

☎〇四六八一七五二三六二一

(退会)

54 井上尚岳(死) (桜山) 299 石塚紅山(一色)